【XX刷新システム】

項	n.uet n	II.	手		AP-V記入欄		***				JPO記入欄					M- 14
	見約番号	No	★ 手単 順手順タイトルNo.	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)	評価日	吉果 評価者	規約 (*2)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)	評価日	i結果 評価者	規約 (*2)	備考
1 3.	1. 1-1	3 層構造 1	1 システムの層構造													
2 3.	1. 2-1	システム構成要素 1	1 3層構造を構成するシステム構成要素													
3 3.	1. 2-2		1 業務層の分割													
4 3.	1. 3-1	アクセスパス 1	1 システム構成要素間の接続													
		2	2 1 [BF管理] へのアクセ													
		3	↑ BF管理]にSIF以外の													
			IF無し													
		4	: 1 [業務AP(画面)] に SIF無し													
			2 [業務AP (画面)]へ の画面呼び出し以外の													
		5	外部アクセス無し 5 1 [業務AP (サービ													
			ス)]へのアクセス													
		6	1 [業務AP (サービ ス)] にSIF以外のIF無													
		7	7 1 [業務AP (バッチ)] にSIF無し	1												
			2 [業務AP (バッチ)]													
			にFTP以外の外部アクセ ス無し													
		8	3 1 [個別DB] へのアクセ ス													
		9	1 [BR管理] へのアクセ ス													
		10	0 1 [BR管理] にSIF以外の IF無し													
			1 1 [外部システム連携] へのアクセス													
		12	2 1 [業務AP (外受)] へ のアクセス													
		13	3 1 [業務AP (外受)]に SIF無し													
		14	1 1													
			4 1 [DBアクセス基盤サー ビス] へのアクセス													
		18	5 1 [DBアクセス基盤サー ビス] にSIF以外のIF無													
		16	6 1 [共有DB] へのアクセ ス													
5 3.	1. 3-2	サブシステム間アクセスパス 1	1									\leftarrow				
6 3.	1. 4-1	アクセスパスのプロトコル 1	1 アクセスパスのプロトコル													
7 3.	1. 5-1	サービスインタフェースを提供する 1 システム構成要素	1 SIFを提供するシステム 構成要素													
			1 SIFの詳細													
0.0	1.5.0	HTTPへッダ 1	1 HTTP ~													
9 3.	1. 0-3	шп· <i>>>99</i>	1 HTTPヘッダ													
10 3.	1.5-4	HTTPステータスコード 1	1 HTTPステータスコード													
11 3.	2. 1-1	ビジネスプロセス 1	1 業務の流れの定義方法													
19 9	2 1-2	ビジネスプロセスの表記 1	1 ビジネスプロセスの表													
14 3.	۵.1 ۵	1	記													
		2														
13 3.	2. 1-3	ビジネスフロー管理の責務 1	1 BF管理の責務									+				
14 3	2, 1-4	ビジネスフロー管理のサービスイン 1	1 BF管理のSIF													
		ビジネスフロー管理のサービスイン I タフェース														
			2 BF管理のSIFの提供													
I I			1 1			I				<u> </u>			ı	<u> </u>		

項規約番号	規約名	基準順	手順タイトル	21 新傑正	AP-V記入欄			年 甲		遊到當所	JPO記入欄	T	₹ 7. (3	(年甲		備考
番 番		No. No	BF管理のSIFのURIおよ	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)	評価日	評価者	規約 (*2)	機能適所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)	評価日	評価者	規約 (*2)	/H./5
			び入出力XML													
		3 1	BF管理のSIFの応答													
		4 1	BF管理のSIFのURIの	+								1		-		
15 0 0 1 5			バージョン情報													
15 3. 2. 1-5	サービスタスク及びユーザタスクの 粒度	1 1	サービスタスクの粒度 及びユーザタスクの粒 度													
16 3. 2. 1-6	ビジネスフロー管理データ	1 1	BF管理が管理するデータ													
17 3. 2. 1-7	ビジネスフロー管理データの設定と	1 1	業務キーの定義数	+			+									
	有効範囲	0 1	八叶女仆体却不旧性料													
		2 1	分岐条件情報の保持数													
		3 1	連携先業務キーの保持 方法						-							
		4 1	BF管理データの設定タ									1				
		5 1	イミング及び有効範囲 分岐条件情報取得の位						-					-		
			置の方式													
		2	分岐条件情報取得の位 置													
		6 1	連携先業務キー取得の位置の方式													
			位直の万式 連携先業務キー取得の						-							
			位置													
18 3. 2. 1-8	ビジネスフロー管理に対するアクセ スパスの特例	1 1														
19 3. 2. 1-9	ビジネスフロー管理における異常時 の動作	1 1	BF管理異常動作時の方													
20 3.2.2-1	業務アプリケーション (サービス)	1 1	業務AP(サービス)の													
	の責務		責務													
21 3. 2. 2-2	業務アプリケーション (サービス) の類型	1 1	業務AP(サービス)の 分類													
22 3. 2. 2-3	ビジネスフロー管理と業務アプリ ケーション (サービス) との整合	1 1	業務AP (サービス) 類型1xとサービスタスク													
	. , ,	2 1	の整合性 業務AP (サービス) 類						-			1				
	Alle Terrer and 11 to 12		型1xの単位													
23 3. 2. 2-4	業務アプリケーション (サービス) に対するアクセスパスの特例															
24 3. 2. 2-5	業務アプリケーション(サービス) 類型1のサービスインタフェース	1 1	業務AP (サービス) 類 型1xのSIFの方式													
		2	業務AP(サービス)類													
		9 1	型1xのSIFの提供 業務AP (サービス) 類						-							
		2 1	型1xのSIFのURIおよび 入出力XML													
25 3. 2. 2-6	業務アプリケーション (サービス) 類型2Aのサービスインタフェース	1 1	業務AP(サービス)類 型2AのSIFの方式													
		2	業務AP(サービス)類 型2AのSIFの提供									+		1		
		2 1	型ZAV/SIFV/提供 業務AP (サービス) 類									-				
			型2AのSIFの仕様													
26 3. 2. 2-7	業務アプリケーション (サービス) 類型2Bのサービスインタフェース	1 1	業務AP(サービス)類 型2BのSIFの方式													
		2	業務AP(サービス)類 型2BのSIFの提供													
		2 1	業務AP (サービス) 類	 												
	NK-Terrary 0 X I		型2BのSIFのURIと入出 力XML構造													
27 3. 2. 3-1	業務アプリケーション (画面) の責 務	1 1	業務AP(画面)の責務													
28 3.2.3-2	業務アプリケーション (画面) の構成	1 1	業務AP (画面) の構成													
29 3. 2. 3-3	WEBブラウザを利用した構成におけ	1 1	業務AP(画面)のWEBブ	 												
	る制限		ラウザ利用制限													
30 3. 2. 3-4	業務アプリケーション(画面)の単位,画面群の定義及び画面遷移の制限		乗務AP(画面)のPG単位													
1 1	PA		1	1		1	I			II.		1	1	I		

項	LE U. IT	基準順	手順タイトル	51±0.44° 3°	AP-V記入欄		33 ftr	*6+ M		76-50 Art 3*	JPO記入欄	•	⇒# <i>1</i> -	F4+ III		/## ±z.
番 規約番号	規約名	No. No		記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)	評価日	活果 評価者	規約 (*2)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)		新結果 評価者	規約 (*2)	備考
		2 1	画面群を構成する画面 の機能特性の同一性													
		3 1	画面群を構成する画面 の機能特性の整合性													
		4 1	業務AP(画面)の起動													
31 3. 2. 3-5	業務アプリケーション (画面) とビ ジネスフロー管理との整合	1 1	ユーザタスクに対応す る業務AP(画面)の整 合性													
32 3. 2. 4-1	業務アプリケーション (バッチ) の 責務	1 1														
33 3. 2. 4-2	業務アプリケーション (バッチ) と ビジネスフロー管理との関係	1 1	業務AP(バッチ)とBF 管理の関係													
34 3. 2. 5-1	個別データベースの責務	1 1	個別DBの責務													
35 3. 2. 5-2	個別データベースに配置するデータ	1 1	個別DBに配置するデー タの妥当性													
		2 1	個別DBのデータに対す る一連の処理													
36 3. 2. 5-3	個別連携一時データとして配置する データ	1 1	個別連携一時データの 整合性													
37 3. 2. 6-1	ビジネスルール管理の責務	1 1	BR管理の処理内容													
		2 1	BRの種別													
38 3. 2. 7-1	DBアクセス基盤サービスの責務	1 1	DBアクセス基盤サービ スの責務													
39 3. 2. 7-2	DBアクセス基盤サービスのサービス インタフェース	1 1	DBアクセス基盤サービ ス提供SIFの妥当性													
		2	DBアクセス基盤サービ スのSIFの提供 (事件)													
		3	DBアクセス基盤サービ スのSIFの提供 (書類)													
		2 1	DBアクセス基盤サービ スのSIFのURIと入出力 XML構造および仕様													
40 3. 2. 7-3	DBアクセス基盤サービスのサービス インタフェースにおける入力XML	1 1														
41 3. 2. 7-4	DBアクセス基盤サービスのサービス インタフェースにおける事件データ の名前空間	1 1														
		2 1	事件データ配下の要素 の名前空間のコード仕 様作成方針													
		2	事件データ配下の要素 の名前空間のコード仕 様作成結果													
42 3. 2. 7-5	DBアクセス基盤サービスのサービス インタフェースに関するアクセス制 限	1 1	DBアクセス基盤サービ スのSIFのアクセス制限													
43 3. 2. 7-6	共有データベースに対するアクセス	1 1														
44 3. 2. 8-1	共有データベースの責務	1 1	共有DBのデータ管理													
45 3. 2. 8-2	共有データベースに配置するデータ	1 1	共有DBに配置するデー タの整合性													
		2 1	共有DBのデータに対す る一連処理													
46 3. 2. 8-3	共有データベースへのアクセス	1 1	共有DBが提供する機能													
47 3. 2. 9-1	外部システム連携の配置	1 1	外部システム連携の配 置の妥当性													
48 3. 2. 9-2	外部システム連携の機能と単位	1 1	外部システム連携機能 のギャップ吸収処理 (外部IF)													
		1 2	・外部システム連携機能 のギャップ吸収処理 (SIF)													
		2 1	外部システム連携の単位													
49 3. 2. 9-3	内部システムから外部システム連携 へのアクセスパス	1 1														
50 3. 2. 9-4	外部システム連携から内部システム へのアクセスパス	1 1														
	I .															

商	基	手		A P – V記入欄						JPO記入欄				
類 規約番号 規約名	No.	順 手順タイトル No.	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)	評価日	結果 評価者	規約 (*2)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則 (*1)	新結果 評価者	規約 (*2)	備考
51 3.2.9-5 外部システム連携に関するアクセンパスのプロトコル	Z 1	1 外部システム連携のプロトコル												
52 3.2.9-6 外部システム連携のサービスイン: フェース	9 1	 内部システムから外部 システム連携へのアク セスパス 												
	2	1												
	3	1 [BF管理的な外部システム連携] へのアクセ												
		2 [業務AP (サービス) 的な外部システム連 携] へのアクセス												
		3 [DBアクセス基盤サー ビス的な外部システム												
53 3.2.10-1 業務アプリケーション (外受) の3 務	貴 1	連携] へのアクセス 1 業務AP (外受) の責務												
54 3.2.10-2 業務アプリケーション (外受) の間置と機能	E 1	1 業務AP (外受) の配置												_
	2	1 業務AP(外受)の提供 機能												
55 3.2.10-3 業務アプリケーション (外受) へ(アクセスパス	D 1	1												
56 3.2.10-4 業務アプリケーション (外受) かりのアクセスパス	b 1	1												
57 3.3.1-1 サブシステム間の連携1 (契機)	1	1 サブシステム間の契機 授受方法			+									
	2	1 連携先が業務AP(サー ビス)時の一意特定不												
		可(通知) 2 連携先が業務AP(サー ビス)時の一意特定不												
58 3.3.1-2 サブシステム間の連携2(業務情報)	1	可 (業務処理) 1 サブシステム間での業 務情報授受方法												
59 3.4.1-1 重複データの禁止	1	1 重複データ排除の方針												
50 3.4.2-1 業務アプリケーションの版管理	1	1 同一業務の版管理(業 務AP(サービス))												
		2 同一業務の版管理(業 務AP(画面))												
		3 同一業務の版管理(業 務AP(バッチ))												
		4 同一業務の版管理(業 務AP(外受))												
	2	1 版管理された業務AP (サービス) の利用方												
51 3.4.3-1 使用する文字コード	1	法 システム構成要素間の 入出力で使用する文字			1									
52 3.4.4-1 システム利用者の認証・認可	1	1 業務AP (画面) のシス テム利用者の認証・認			1									
53 3.4.4-2 システム構成要素間の認証・認可	1	可 1 システム構成要素間の 認証・認可												
64 3.4.5-1 業務キーと業務キー区分名の基本は 機成	的 1	1												
構成											\			

^{*1:} 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。 *2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。 例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。 導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。

項		基	手		AP-V記入欄						JPO記入欄					
項 規約番号		基 準 No.		記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	活果 評価者	規約(*2)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	m結果 評価者	規約(*2)	備考
1 3. 1. 1-1	3層構造	1														
2 3.1.2-1	システム構成要素	1	1			$\overline{}$						$\overline{}$	$\overline{}$			
3 3 1 2-2	業務層の分割	1				\leftarrow										
0 0.1.2 2	X-00/H v M H															
4 3.1.3-1	アクセスパス	1	1													
		2	1 [BF管理] へのアクセ			+ -	\rightarrow					 		\rightarrow		
			Z													
		3	1 [BF管理] にSIF以外の IF無し													
		4	1 [業務AP(画面)] に SIF無し													
			[業務AP(画面)]へ												:	
			の画面呼び出し以外の 外部アクセス無し													
		5	1 [業務AP (サービ ス)] へのアクセス													
		6	1 [業務AP(サービ ス)] にSIF以外のIF無				1						1			
		7	し				-						-			
			1 [業務AP (バッチ)] にSIF無し													
			[業務AP(バッチ)] にFTP以外の外部アクセ													
		8	ス無し 1 [個別DB] へのアクセ													
			Z Spackform 2 over his													
		9	1 [BR管理] へのアクセ ス													
		10	1 [BR管理] にSIF以外の IF無し													
		11														
			へのアクセス													
		12	 [業務AP(外受)]へのアクセス 													
		13	1 [業務AP (外受)] に SIF無し				1									
		14	1 [DBアクセス基盤サー													
			ビス] へのアクセス													
		15	1 [DBアクセス基盤サー ビス] にSIF以外のIF無													
		16	し 1 [共有DB] へのアクセ													
5 2 1 2 2	サブシステム間アクセスパス	1	^			\downarrow										
5 3.1.3-2	サブシステム同ナクセスハス	1														
6 3.1.4-1	アクセスパスのプロトコル	1	1													
7 3.1.5-1	サービスインタフェースを提供する システム構成要素	1	1			+										
						$\downarrow $										
8 3.1.5-2	サービスインタフェース	1														
		2	1 URIの定義			1						1				
		3	1 版 (バージョン) の特													
			定													
		4	1 シングルバイト文字の 使用													
		5	1													
		6	1 XML Schemaの提供			4	\vdash					1				
			The content / We be													
		7	1 バイナリデータのエン コード													
		8	1			\leftarrow										
			1 Hamber - In													
		9	1 HTTPステータスコード の定義													
I I	I	ш		1	1		1				1			1		

項=細細型	相如友	基	手順力力力。	为 事做定	AP-V記入欄	1	37 /T	任 田		7を到 答言	JPO記入欄	1	評価結果		/#. 北.
番 規約番号	規約名	基 準 No.	順 手順タイトル No. 1 HTTPステータスコード	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	結果 評価者	規約(*2)	作認固所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日 評価	五者 規約(*2)	備考
		10	の定義に準じた結果の返却												
		11	1 URIの利用者識別情報含 右						-						
		19	「 1 URIの受付ポート含有						-						
		12	1 00100支付本 下百有												
9 3.1.5-3	HTTPヘッダ	1	1 SIFのHTTPヘッダの設定												
		2	2 SIFのリクエストヘッダ												
			の設定												
		3	3 SIFのエンティティへッ ダの設定												
10 3.1.5-4	HTTPステータスコード	1	1				\vdash					\leftarrow			
		2	1 SIFのHTTPステータス コード値の定義 (BF管 理)												
		3	型) 1 SIFのHTTPステータス コード値の定義(業務												
			AP (サービス) 類型1) 1 SIFのHTTPステータス						-						
		4	コード値の定義 (業務 AP (サービス) 類型2)												
		5	1 SIFのHTTPステータス コード値の定義 (BR管						-						
		6	理) 1 SIFのHTTPステータス						-						
			コード値の定義 (DBア クセス基盤サービス)			<u>L</u>									
11 3. 2. 1-1	ビジネスプロセス	1	1												
12 3. 2. 1-2	ビジネスプロセスの表記	1	1					$\overline{}$							
		2													
13 3. 2. 1-3	ビジネスフロー管理の責務	1	1					$\overline{}$							\
14 2 2 1-4	ビジネスフロー管理のサービスイン	1	1 RF管理のSIFの提供												
14 5. 2. 1 4	タフェース	1	I DI EXEVIORI VI DE C												
		2	1 BF管理のSIFのURIの構成						=						
		3	1 BF管理のSIFの入力XML						-						
			構造の構成												
		4	1 BF管理のSIFの出力XML 構造の構成												
		5	1												
								$\overline{}$	_			\downarrow			
		6													
15 3. 2. 1-5	サービスタスク及びユーザタスクの 粒度	1	1			$\overline{}$		$\overline{}$				$\overline{}$			
	ビジネスフロー管理データ	1				\leftarrow		$\overline{}$				+			
] \		
		2	1 BF管理が管理するデー タ												
17 3. 2. 1-7	ビジネスフロー管理データの設定と	1	1 業務キー情報の整合性									+			
	有効範囲														
		2	1 分岐条件情報の整合性												
		3	1 連携先業務キー情報の			+									
10 0 0 1 0	ビジネスフロー管理に対するアクセ	1	整合性			<u> </u>				<u> </u>		\downarrow			
18 3. 2. 1-8	ピンネスプロー管理に対するアクセ スパスの特例	1					$ \setminus $					\	$ \cdot $		
19 3. 2. 1-9	ビジネスフロー管理における異常時 の動作	1	1			\setminus		$\overline{}$				$\overline{}$	\nearrow		
	業務アプリケーション (サービス)		1			\leftarrow		$\overline{}$				+			<u> </u>
0.2.2 1	の責務	1				\									
21 3. 2. 2-2	業務アプリケーション (サービス) の類型	1	1 業務AP (サービス) の 分類												
22 3. 2. 2-3	ビジネスフロー管理と業務アプリ	1	1 光致AD (井 ビュ) 粨				 					+	 		
	ケーション (サービス) との整合		型1xとサービスタスク の整合性												
	•					•					•	•		1	

項規約番号	規約名	基 手 準 順 手順タイトル	記載當正	AP-V記入欄 コメント	_	評価	± 甲.		冲 初 笛	JPO記入欄	1	117.47	(紅甲)		備考
番 然的事	がたかり石	No. No. 2 1 業務AP (サービス) 類	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)	\m ♣
		型1xの単位													
23 3. 2. 2-4	業務アプリケーション (サービス) に対するアクセスパスの特例														
24 3. 2. 2-5	業務アプリケーション(サービス) 類型1のサービスインタフェース	1 1 業務AP(サービス)類 型1xのSIFの提供													
		2 1 業務AP(サービス)の SIFのURI													
		2 業務AP(サービス)の SIFのHTTPメソッド													
		3 1 業務AP (サービス) の SIFの入力XML													
		4 1 業務AP(サービス)の SIFの出力XML													
25 3. 2. 2-6	業務アプリケーション (サービス) 類型2Aのサービスインタフェース	1 1 業務AP (サービス) 類 型2AのSIFの提供													
		2 1 業務AP (サービス) 類 型2AのSIFの仕様													
		2 業務AP(サービス)類 型2AのSIFのHTTPメソッ													
26 3. 2. 2-7	業務アプリケーション (サービス) 類型2Bのサービスインタフェース	1 1 業務AP (サービス) 類 型2BのSIFの提供													
		2 1 業務AP(サービス)類 型2BのSIFのURI												-	
		2 業務AP (サービス) 類 型2BのSIFのHTTPメソッ													
		3 1 業務AP (サービス) 類型2BのSIFの入力XML													
		4 1 業務AP (サービス) 類型2BのSIFの出力XML													
27 3. 2. 3-1	業務アプリケーション(画面)の責 務	1 1													
28 3. 2. 3-2	業務アプリケーション (画面) の構成	1 1													
29 3. 2. 3-3	WEBブラウザを利用した構成における制限	1 1													
30 3. 2. 3-4	業務アプリケーション (画面) の単 位, 画面群の定義及び画面遷移の制 限	1 1 業務AP (画面) のPG単位													
		2 1													
		3 1 業務AP (画面) の起動													
		4 1 業務AP (画面) 間の遷 移方法													
31 3. 2. 3-5	業務アプリケーション (画面) とビ ジネスフロー管理との整合	1 1 ユーザタスクに対応す る業務AP (画面) の整 合性													
	業務アプリケーション(バッチ)の 責務														
33 3. 2. 4-2	業務アプリケーション(バッチ)と ビジネスフロー管理との関係	る業務の流れの制御 (メッセージ)													
		2 業務AP (バッチ) によ る業務の流れの制御 (ユーザタスク)													
		3 業務AP (バッチ) を使 用した不適切処理の検 出													
	個別データベースの責務														
35 3. 2. 5-2	個別データベースに配置するデータ	1 1 個別DBに配置するデー タの妥当性													
		2 1													
36 3. 2. 5-3	個別連携一時データとして配置する データ	1 1 個別連携一時データの整合性										<u> </u>			
37 3. 2. 6-1	ビジネスルール管理の責務	1 1													
		2 1													
	<u> </u>							V							

項 規約番号	規約名	基 手 準 順 手順タイトル	記載笛所	AP-V記入欄		評 価	結果		確認當所	JPO記入欄	1	亚布	話果		備考
_	DBアクセス基盤サービスの責務	No. No. 1 1 1	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価目		規約(*2)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)		評価者	規約(*2)	VHI C→
39 3. 2. 7-2	DBアクセス基盤サービスのサービス インタフェース	1 1 (1) DBアクセス基盤 サービスは、少なくと													
		も「表 3.2-12 DBアク 2 1 URIが『別冊2 サービス													
		インタフェース仕様 (URI・入出力XML構) 3 1 入力XML構造が『別冊2													
		サービスインタフェー ス仕様(URI・入出力													
		4 1 出力XML構造が『別冊2 サービスインタフェー													
		ス仕様(URI・入出力 5 1 DBアクセス基盤サービ													
40 2 0 7 2	DBアクセス基盤サービスのサービス	スが提供するサービス インタフェースについ									<u> </u>				
40 3. 2. 7-3	DB/ クピス基盤り一とスのリーとス インタフェースにおける入力XML														
		2 1													
		3 1												\	
41 2 0 7 4	DDマカムッ甘蘇北、ビッの北、ビッ	1 1 事件 2 万和工の画書													
	DBアクセス基盤サービスのサービス インタフェースにおける事件データ の名前空間	1 1 事件データ配下の要素 の名前空間の設定													
		2 1													
42 3. 2. 7-5	DBアクセス基盤サービスのサービス インタフェースに関するアクセス制											$\overline{}$			
	インタフェースに関するアクセス制限 共有データベースに対するアクセス														
44 3. 2. 8-1	共有データベースの責務	1 1													
45 3. 2. 8-2	共有データベースに配置するデータ	1 1 共有DBに配置するデータの整合性													
		2 1			\leftarrow						\leftarrow				
					$\rfloor \setminus$] \				
46 3. 2. 8-3	共有データベースへのアクセス					/									
47 3. 2. 9-1	外部システム連携の配置	1 1 外部システム連携の配置の妥当性													
48 3. 2. 9-2	外部システム連携の機能と単位	1 1 外部システム連携機能													
		のギャップ吸収処理 (外部IF)													
		2 外部システム連携機能 のギャップ吸収処理 (SIF)													
		2 1 外部システム連携の単位													
49 3. 2. 9-3	内部システムから外部システム連携	1 1													
	へのアクセスパス														
50 3. 2. 9-4	外部システム連携から内部システム へのアクセスパス														
51 3. 2. 9-5	外部システム連携に関するアクセス パスのプロトコル	1 1													
52 3. 2. 9-6	外部システム連携のサービスインタ	1 1													
	フェース													_	
		3 1 [BF管理的な外部シス テム連携] へのアクセ]			
		ス 4 1 [業務AP (サービス)												_	
		的な外部システム連携]へのアクセス 5 1 [DBアクセス基盤サー									1				
		ビス的な外部システム 連携] へのアクセス										<u> </u>			
53 3. 2. 10-1	業務アプリケーション(外受)の責 務	1 1													
54 3. 2. 10-2	業務アプリケーション(外受)の配 置と機能	1 1										$\overline{}$	$\overline{}$		
	<u>⊏ ⊆ 10% ⊓L</u>	2 1 業務AP (外受) の提供			+ >	\vdash					+ >	\vdash		_	
		機能													
55 3. 2. 10-3	業務アプリケーション(外受)への アクセスパス														
		$\overline{}$				_ \									

1786			基	手		AP-V記入欄						I PO記入欄					
項 規網	約番号	規約名	準	順 手順タイトル No.	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	新結果 評価者	相約(*9)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント	細則(*1)	評価日	結果 評価者	担約(*9)	備考
56 3.2	. 10-4	業務アプリケーション(外受)から のアクセスパス	2			Will little Set 1 Section 2 Section	MART (1-1)	11 11 1	NI IIII B	7000	MANI MAN DE LE ANI C HOTE	THE BUT CELLS OVER SHEET AND AN ADDRESS.	mayes (+1)	pri limi i-	h1 lm.p	NUMS (12)	
57 3.3	. 1-1	サブシステム間の連携1(契機)	1	1 サブシステム間の契機 授受方法													
			2	1 連携先が業務AP (サービス) 時の一意特定不可(通知)													
				2 連携先が業務AP (サー ビス) 時の一意特定不 可 (業務処理)													
		サブシステム間の連携2(業務情報)	1	1 サブシステム間での業 務情報授受方法													
59 3.4	. 1-1	重複データの禁止	1	1 重複データ排除の結果													
60 3.4	. 2-1	業務アプリケーションの版管理	1	1 同一業務の版管理 (業 務AP (サービス))													
				2 同一業務の版管理(業 務AP(画面))													
				3 同一業務の版管理(業 務AP (バッチ))													
				4 同一業務の版管理(業 務AP(外受))													
			2	1 版管理された業務AP (サービス)の利用方 法													
		使用する文字コード	1	1													
		システム利用者の認証・認可	1														
		システム構成要素間の認証・認可	1														
64 3.4		業務キーと業務キー区分名の基本的 構成	1	1													

^{*1:} 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。
*2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。
例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。
導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。

					0	A D 37211 #0						1 D O = 1.1 HN				
項番	規約番号	規約名	No.	No. 手順タイトル	記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	AP-V記入欄 コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	結果 評価者	規約(*2)	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	JPO記入欄 コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載		価結果 評価者	規約(*2)	備考
		実行可能モデルで使用可能なBPMN要素														
		記述モデル及び分析モデルで使用可能なBPMN要素	1	1 使用可能なBPMN要素												
		実行可能モデルにおける識別子	1													
4	別1 2.3-1	ラベルに係る命名規則	1	1 ラベルの命名規則規定												
			2	2 ラベルの命名規則順守												
5	別1 2.4-1	サブシステム内の表記方法の統一	1	1 ビジネスプロセスの BPMN表記規定												
			2	2 ビジネスプロセスの BPMN表記の規定順守												

^{*1:} 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。 *2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。 例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。 導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。

126		基 手		AP-V記入欄						JPO記入欄					
現 規約番	号 規約名	準 順 手順タイトル	記載箇所	コメント		評価組			確認箇所	コメント		評価結果			備考
畓		No. No.	※設計成果物名と章項節を記載	※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)	※設計成果物名と章項節を記載	※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則(*1)	評価日 :	评価者	規約(*2)	
	-1 実行可能モデルで使用可能なBPMN関素														
2 別1 2.	-2 記述モデル及び分析モデルで使用同能なBPMN要素	1 1 1													
3 別1 2.	2-1 実行可能モデルにおける識別子	1 1 BPMN要素の識別子													
		2 2 識別子へのマルチバイト文字使用不可													
4 別1 2.	3-1 ラベルに係る命名規則	1 1 ラベルの命名規則規定													
		2 2 ラベルの命名規則順守													
5 別1 2.	-1 サブシステム内の表記方法の統一	1 1													

^{*1:} 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。 *2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。 例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。 導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。